

共生社会の実現に向けて Vol.5

◆D&I

D&IのDはダイバーシティ（多様性）、Iはインクルージョン（包摂）です。D&Iで“多様性を包み込む”となります。

社会福祉の分野に「ソーシャル・インクルージョン（社会的包摂）」という言葉があり、障がいや高齢、貧困など社会的に弱い立場にある人を区別や排除したりせず、受け入れて包み込み、共生する社会を実現するという考え方を表わしています。

職場も共生すべき社会です。性別、年齢、障がいの有無、国籍などの属性に加え、価値観、文化、宗教、学歴、育った環境、経験、家族構成などを反映したライフスタイルやキャリアに対する考え方、働き方など多種多様な“違い”を持った人が同じ職場で生き生きと安心して働ける職場環境を整えることが求められます。

“違い”は、しばしば対立や衝突、分断の原因となったり、多数者の少数者に対する、また、強者の弱者に対するハラスメントやいじめ、差別を生み出し、それはさまざまな生きづらさや自己実現を妨げる原因にもなります。多様性を包み込むには、寛容と配慮を持って“違い”を認め合うことが必要です。

また、企業などにとってD&Iの推進は、多様な人材の確保、働きやすい職場環境の整備による生産性の向上、異質なものの触れ合いから生まれる新しいアイデア、従業員の人権の保障、企業評価の上昇などのメリットがあるといわれています。しかし、そうした効果は単に多様性を取り入れただけでは発揮されず、多様性が対立や衝突、分断を生まないよう配慮した上で、組織の強みとする努力を続けることが必要です。

問合先 役場企画課企画調整係（内線213）